

事務事業チェックシート

事務事業No 365 事業名 がん対策事業(胃がん)

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	7	健康で元気に暮らせる環境づくり
施策	1	健康づくりの推進
取組方針	2	成人保健対策の推進

事業種別	継続	
事業期間	永年 ~	
事業実施の根拠法令	健康増進法	
関連個別計画	健康わかやま21推進計画	
担当課・担当課長 (Tel)	地域保健課	松浦 英夫 (488-5119)
関連課		

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	衛生費		
	項	保健衛生費		
	目	成人保健対策費		
	大事項	成人保健対策事業		
事項	がん対策事業(胃がん)			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的 (「誰・何」をどういう状態にする)ための事業か 日本人の死因第一位である「がん」を早期発見することで、早期治療に結びつけ、市民の健康保持をはかるだけでなく、自身の健康管理についての意識の向上をはかる。 胃がんはわが国のがんで多くみられ、これを早期に発見し治療に結びつけることは、がん予防対策上最も重要な課題である。		事業内容 ◎集団検診 項目：問診、胃部エックス線間接撮影(バリウム検査) [検診バス利用] 場所・内容：①市内12地区での検診(地区回覧にて申込募集) ②特定健康診査とのセット検診(国保年金課で申込募集) ③肺・大腸・乳がん検診とのセット検診(電話・ハガキによる申し込み) ◎個別検診 項目：問診、胃部エックス線直接撮影(バリウム検査) ないし胃内視鏡検査 実施場所：和歌山市内の胃腸科などの医療機関 内容：直接医療機関に申し込んで受診 ◎成人ピロリ菌検査(平成28年度から実施) 40歳・45歳の市民を対象に血液検査によるヘリコバクターピロリ抗体検査を実施する				
	実施内容	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診の実施(個別、集団) 平成24年度から内視鏡検査を導入 複数のがん検診をセットで受診できる集団検診の実施 特定健診とのセット検診 ラジオイベントなどで周知を実施 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がん健診精度管理研修会 40~69歳の市民にがん検診案内の個別勧奨通知を送付 市民公開講座の開催 		<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診の実施(個別、集団) 平成24年度から内視鏡検査を導入 平成27年度から精度管理向上のため二次読影の実施 複数のがん検診をセットで受診できる集団検診の実施 特定健診とのセット検診 ラジオイベントなどで周知を実施 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がん健診精度管理研修会 40~69歳の市民にがん検診 	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診の実施(個別、集団) 平成27年度から精度管理向上のため二次読影の実施 平成28年度からピロリ菌検査実施 複数のがん検診をセットで受診できる集団検診の実施 特定健診とのセット検診 ラジオイベントなどで周知を実施 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がん健診精度管理研修会 50~69歳の市民にがん検診 	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診の実施(個別、集団) 平成27年度から精度管理向上のため二次読影の実施 平成28年度からピロリ菌検査実施 複数のがん検診をセットで受診できる集団検診の実施 特定健診とのセット検診 ラジオイベントなどで周知を実施 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がん健診精度管理研修会 50~69歳の市民にがん検診 	<ul style="list-style-type: none"> 胃がん検診の実施(個別、集団) 平成27年度から精度管理向上のため二次読影の実施 平成28年度からピロリ菌検査実施 複数のがん検診をセットで受診できる集団検診の実施 特定健診とのセット検診 ラジオイベントなどで周知を実施 医療機関に精密検査対象者の結果報告を依頼 胃がん健診精度管理研修会 50~69歳の市民にがん検診 		

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	42,495	68,685	68,835	72,175	48,331	49,372	48,604		48,604	
伸び率(%)	-	-	62.0%	5.1%	▲29.8%	▲31.6%	0.6%	▲100.0%	0.0%	-
人件費	正規職員	4,085	3,616	3,582	3,502	3,220	3,359		3,502	
	正規職員以外	560	450	450	519	492	215		492	
	小計	4,645	4,066	4,066	4,101	3,994	3,435	3,574		3,994
国庫支出金										
県支出金						921	810		810	
市債										
その他										
一般財源(税等)	42,495	68,685	68,835	72,175	48,331	48,451	47,794		47,794	
所要人数(人)	正規職員	0.54	0.49	0.49	0.47	0.47	0.41	0.42		0.47
	正規職員以外	0.38	0.30	0.30	0.33	0.33	0.14	10.14		0.33
主な予算内訳	報償金402千円、印刷製本費479千円、がん検診委託料46773千円、精度管理データ入力委託料100千円 等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	胃がん検診の受診者数	人	目標値				
			実績値	7,031	6,579	3,810	
			達成度(%)				
成果指標	胃がん検診の受診率	%	目標値	40	40	40	40
			実績値	5.9	5.5	5.8	
			達成度(%)	14.8%	13.8%	14.5%	
活動指標	胃がん検診の受診率	%	目標値				
			実績値				
			達成度(%)				

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	○ 達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	健康増進を行うために二次予防は大きな役割を担っている。 市民の方々に「自分の健康は自分で守る」との意識の向上を積極的に推進していきたい。
見直し・改善内容	健康に対する意識向上に努めたい。